

国際ロータリー第 2530 地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎
郡山アーバンロータリークラブ 会長 白岩 邦俊
幹事 松川 義行



インスピレーションに
なろう

第 2 回 例会 H.30.7.11 (水)

- ▶ 開会点鐘 ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」
- ▶ ロータリーの目的・四つのテスト唱和 味戸誠一郎さん
- ▶ ゲスト：飯島成一 中央分区ガバナー補佐(郡山西北RC) 阿部光司 中央分区幹事(郡山西北RC)

会長挨拶

白岩 邦俊 会長

7月3日付けで、バリー・ラシンR1会長から私あてにメールが届きました。世界中の地区のリーダーや会長に届いたものと思いますが、非常に感激いたしました。内容をかいつまんでご紹介したいと思います。

「ロータリーの役割におけるリーダーシップは、その性質からリーダー競争によく例えられます。それは個人競技ではなく、チームとして行うものです。今年度リーダーとなられた皆様が、ひとつのチームとなるのです。私たちは同じ目的を持っています。それはロータリーの奉仕によって世界を変えること。ひとつひとつのプロジェクト、クラブ、地域によって変えていくのです。今年のロータリー年度のテーマは『インスピレーションになろう』です。私は長年にわたり、真に意欲を高めていく姿を見てきました。奉仕を通じて、最も影響をもたらす人とは、必ずしも豊かな経験や幅広い人脈を持つ人ではありません。大きな影響を生むのは、インスピレーションを得た人たちです。経験で心に火が灯され、奉仕のインスピレーションを得たのです。ご自身の中に、インスピレーションを見出すだけでなく、人々のインスピレーションとなってください。奉仕に意義を見出し、影響を生み出す者としての自己を認識し、さらに多くを為すことに意欲を燃やすロータリアン同士で力を合わせ、力強いクラブと地区を築いていきましょう。情熱をもって規範となり、現在よりもはるかな堅実な未来へとロータリーを導いてください。『インスピレーションになろう』というテーマを、ともに実現しましょう。心をこめて。」と結ばれています。

地区のリーダーや会長に対する内容ですが、会員皆様にもあてはまるものと思いますので、紹介いたしました。これから1年、よろしくお願いいたします。



中央分区ガバナー補佐挨拶

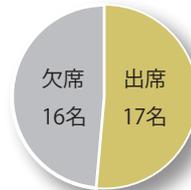
飯島 成一様



微力ではございますが、皆様のお力添えをいただきながら誠心誠意その任を全うすべく努力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。私は米屋ですが、NHKの高校野球の解説を29年間しておりますので、今月だけ職業分類は野球解説者としています。阿部中央分区幹事とともに、地区と中央分区10クラブのパイプ役としてお手伝いをさせていただきたいと思っております。郡山アーバンRCのガバナー公式訪問は10月17日です。地区大会のゴルフコンペは10月19日に会津磐梯CCで行います。地区大会は11月23・24日に会津風雅堂で開催します。中央分区IM(インターシティ・ミーティング)は郡山西北RCの主幹で2月2日(土)にビューホテルアネックスで開催します。皆様のご参加をお願いします。1年間よろしくお願いいたします。

出席報告

津野 順子 副委員長



総員 33名
出席率 51.52%
前回修正率 66.67%

スマイルBOX報告

渡邊 孝子 委員長

- 😊 飯島成一様 ▶ ガバナー補佐訪問です。よろしくお願いいたします。
- 😊 阿部光司様 ▶ 1年間よろしくお願いいたします。
- 😊 松川 義行 ▶ 飯島ガバナー補佐、阿部中央分区幹事、例会へのご参加ありがとうございます。
- 😊 鈴木かおる ▶ ガバナー補佐、地区幹事、1年間よろしくお願いいたします。
- 😊 佐藤 功一 ▶ 橋本さんの卓話を楽しみにして。
- 😊 橋本 弘幸 ▶ 暑いです。
- 😊 宗形 千鶴 ▶ 親睦活動委員会に出席できませんでした。これからもよろしくお願いいたします。
- 😊 岩山慎一 😊 大山三起雄 😊 味戸誠一郎 😊 石堂勝壽
- 😊 采女真弓 😊 小林悦子



プログラム／会員卓話

幹事報告

松川 義行 幹事

- ①平井義郎ガバナーより「西日本豪雨にロータリーの心を」として、臨時災害特別基金への会員 1 人 2,000 円以上のご協力のお願いがきております。
- ②地区職業奉仕委員会の活動報告書を配布しました。
- ③第 100 回全国高校野球福島大会入場券引換券を 10 枚いただいております。ご希望の方はお申し出ください。
- ④8 月 10 日、10 時 30 分からグローバル補助金事業の完成式典が行われます。ファックスでご案内しますので、多数のご参加をお願いいたします。

■ 米山功労者表彰
橋本弘幸さん
(第 2 回マルチプル)



プログラム／会員卓話

「IoTのこれから」

橋本 弘幸 さん



IoTとは「インターネット・オブ・シングズ」の略で、あらゆるものがインターネットを通じてつながることにより実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称です。建物、電化製品、自動車、医療機器、パソコンやサーバなど、コンピュータ以外にも多種多様なものがインターネットに接続され、相互に情報をやりとりすることです。様々なものにインターネット通信機能を持たせることによって、インターネット経由で情報のやりとりを行い、自動認識や自動制御、遠隔操作などを行うことです。いろいろなものがつながり、情報がいろいろな形に連携して、様々なことが行えるということです。

オックスフォード大学が「雇用の未来」として 10～20 年後に消滅する職業の確率を発表しました。確率が高いのはスーパーのレジ、レストランのコック、受け付け、弁護士の補助、ホテルウェイターなどとされています。ITやIoT、AIの普及によって、全職種の 47%が機械に代替えられることが予想されています。RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とAI(人工知能)という自動化の波が世界中で進んでいます。RPAにより機械が人の代わりにやってくれて、人間は決断の操作をすることになります。国際競争に勝つためにもRPAやAIは不可欠となります。その中で、我々はどうのようなスキルを持つ必要があるかという、創造性です。これがインスピレーションかもしれません。社会的知性、認識と操作が必要ではないと言われております。

働き方改革が叫ばれ、9 時から 5 時まで出社することが変わってくるかもしれません。実績や成果による脱時間給の時代が来ることはそれほど遠くはないと思います。

2029 年には AI が人を超えられています。2020 年には通信速度が 5Gになると言われましたが、世界では今年から 5Gになりました。通信スピードが現在の 4Gの 100 倍以上と言われています。映画などをダウンロードする必要がなく、そのまま見ることができるスピードになります。価格は変わりません。ドイツでは 2011 年から政府主導でインダストリー 4.0 として、機械同士がインターネットでつながり、さまざまな情報を共有しています。新しいサービスや製品を提供するスマートサービスが広がっていくとされ、ドイツでは政府が推奨して企業に補助金を出しています。

日本は民間主導でソサエティ 5.0 という名称で行おうとしています。1.0 は市場、2.0 は農耕、3.0 は工業、4.0 は情報、これからの新時代は 5.0 とされ、次に 6.0 になり、これまでの社会がロボットや AI などにより、いろいろなものがつながる時代になると政府が想定しています。クラウド上のデータをサイバー空間で人工知能を使って解析し、ビッグデータとして一元化して情報を集約します。当社の製品の「あんしんひつじ」もそのひとつになります。

経済発展にもつながる新しいサービスやものの提供をしていく時代が目の前に来ています。予防検診、ロボット介護はすでにあります。農業関係も、自動化、エネルギーの多様化などもつながれば、いろいろなことができるようになります。医療関係も AI による解析なども出ています。快適な生活を送るための動きはすでに動いており、特に中国は早く、日本はかなり遅れています。課題はたくさんありますが、このような方向に進むことを頭に入れていただければと思います。

世の中にあるさまざまなものがインターネットでつながり、それぞれが情報をつないでいく時代に、アナログである人間がどのように生活を営むべきか、場合によってはその答えも AI が出してくれるかもしれません。

最後に NEC の動画を見ていただきたいと思います。インスピレーションがわいた方はおられたでしょうか。我々の生活がより豊かになることを目的としている IoT はどんどん進化しており、家庭にある様々なものがつながっていくものと思います。

ロータリー財団寄付者

- 鈴木かおる ■ 橋本弘幸 ■ 味戸誠一郎 ■ 佐藤功一

米山記念奨学会寄付者

- 白岩邦俊 ■ 佐藤功一 ■ 大山三起雄 ■ 味戸誠一郎
- 橋本弘幸

ポリオ寄付者

- 橋本弘幸

閉会点鐘